

# 流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野  
20260320

観測期間: 2026年3月17日~18日

観測船: 南星丸

観測海域: 北部薩南海域

## 解説

鹿児島大学水産学部では、薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている。モジャコ魚の漁期前・漁期中において、薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船南星丸を使って、北部薩南海域(鹿児島湾口部)の流れ藻観測を3月17日~3月18日に実施した。

観測期間中、観測期間後の本海域では、黒潮は奄美群島西岸沖を北東方向へ流れつつ、トカラ海峡付近において大きく蛇行している様子が確認された。また、屋久島南方から西方にかけて暖水域が広がり、黒潮に伴う暖水が薩南海域へ流入していることが示唆される。さらに、屋久島西方および南西方には渦構造が形成されていた。

北部薩南海域において流れ藻観測を行ったところ、17日と18日の観測において流れ藻が発見された(下図黒点部分)。いずれも1×1 m<sup>2</sup>程度の小規模な流れ藻であり、大規模な流れ藻の集群は認められなかった。

Bckgr: Potential Temperature at Model Level [C]+Sea Current at Model Level [m/s];  
20260317 06:30 JST (ANL); Dep=1 m

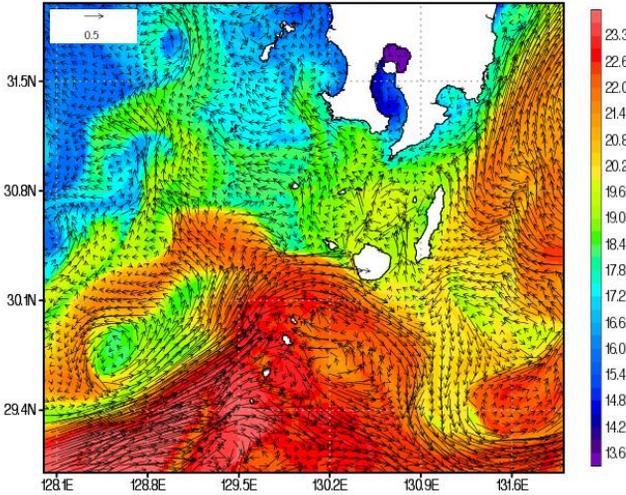


図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR\_E)における流れ(矢印)および海面水温(赤~紫)の3月17日の結果(ホームページより引用)。

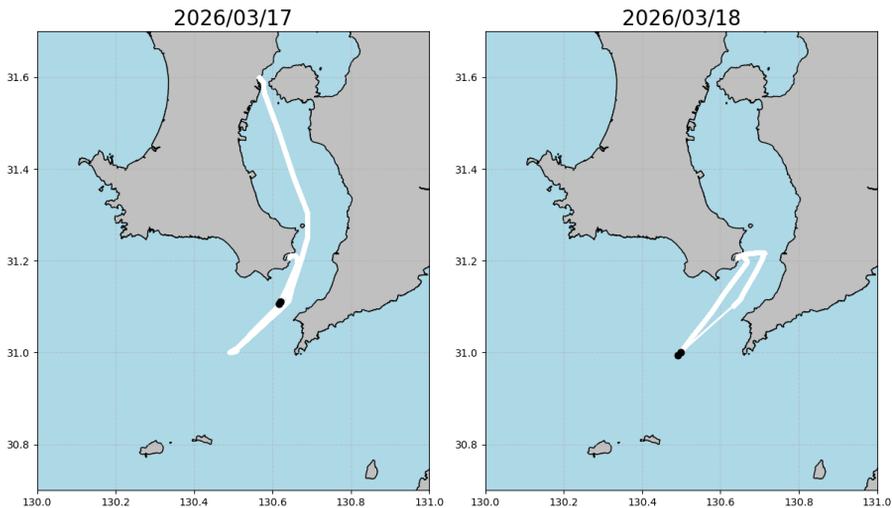


図2. 鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果。黒点部分にて、流れ藻が発見された。

- 航路
- 流れ藻が発見された地点